

浄土真宗の精神（親鸞聖人の精神）を建学の精神とする本学は、全てのいのちが平等に生かされる「共生」の理念を掲げ、総合大学として人間・科学・宗教の学問領域が相互に連携する知の創造活動を進めながら、建学の精神に基づく人間教育を展開している。

建学の精神の普及・醸成に係る具体的な取り組みとしては、「仏教の思想」を必須科目と位置付けて全学生に仏教的な情操の育成を図ることを中心に、朝の勤行や降誕会法要等の各種法要、学長等による法話などを行い、親鸞聖人の思想・生き方等に触れる機会を多数設けている。また、顕真館公開講演会の実施や龍谷ブックスなど仏教関係刊行物の発刊等も積極的に行っている。

平成18年度については、従来の取り組みを踏襲し、できるだけ多くの学生が宗教的な機会に触れることを促進することとする。また、人権啓発パンフレット『共是凡夫』を新たに発刊し、人権尊重に関する啓発・普及活動をすすめるなかで、建学の精神の醸成に努めることとする。